

石川県立白山青年の家・白山ろく少年自然の家の令和6年度管理状況

様式

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	一般財団法人白山市地域振興公社 理事長 北村 潔
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
中期経営目標 (R4～R8)	<白山青年の家> ①利用者数を5年間で7%増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。 <白山ろく少年自然の家> ①利用者数を5年間で4%増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	【共通】 1 職員の資質向上研修会 ・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会の受講 ・東海北陸地区青少年教育施設協議会に参加（白山青年の家） 2 利用者の意見の把握・対応 ・利用団体アンケートの実施 白山青年の家 50件、白山ろく少年自然の家 86件 3 自主事業の企画・実施 <白山青年の家> ・さとやまサロン（5事業78人参加） ・いしかわ子ども自然学校の実施（15事業324人参加） <白山ろく少年自然の家> ・「ジオツアーズ」の実施（1回／31人参加） ・ホームページに「小学校への事前学習動画等」を掲載 ・いしかわ子ども自然学校の実施（16事業／382人参加）
② 広報活動	施設情報提供、広報、報告 <白山青年の家> ・昨年刷新したホームページ内容や写真を随時新しい情報に更新した。 ・https化を継続、セキュリティの向上を図った。 ・施設利用のパンフレット配布 ・自主事業「さとやまサロン友の会」の継続により、参加経験者への優先情報提供 ・白山市のLINEにさとやま事業の案内を掲載してもらいブッシュ型案内を行った。 <白山ろく少年自然の家> ・ホームページの内容の充実（パソコンだけでなく、スマホやタブレットからも利用しやすいシステムになった。） ・施設利用をPRするために、チラシを作成し、学校、教育センター、公民館等を訪問 ・白山市校長会議にて本年度の概要を説明した ・大学を訪問し、ボランティアスタッフ募集を依頼

(2) 令和7年度における取組内容の見直し等

実施内容
<白山青年の家> ① 9月より予約受付業務のDX化 （いしかわ施設予約サービスを利用した予約受付サービスの開始） ② 関係機関と連携した広報活動（白山市観光文化スポーツ部ジオパーク・エコパーク推進課、白山市観光連盟等と積極的に連携し、効果的な広報活動を推進するとともに、利用者にジオパーク関連の情報を提供・推進する） ③ まが玉作りの活動プログラムについて、削るときにでる粉を軽減するため水とブロックを利用。 また、ヒモをより丈夫でカラフルなパラコードロープを準備し利用者を選択する幅を広げる。 <白山ろく少年自然の家> ・安全、安心な施設運営（危機管理マニュアルの改善、避難訓練、職員研修の充実） ・豊かな自然と触れ合えて、安全に配慮された活動場所の開発 ・利活用の促進（魅力あるプログラム開発と指導改善、積極的な広報、周知） ・利用者の声をいかしたサービス充実（利用団体全てにアンケートを依頼し、計画、改善点にいかす）

2 中期経営目標の進捗状況

<白山青年の家>

測定指標	H29～R1 年度 (基準値)	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	基準値比	R8年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	20,772人	8,329人	8,034人	11,345人	141.2%	54.6%	22,250人
(2) 貸館稼働率 (%)					.0%	.0%	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	99.0	100.0	100.0	100.0	.0%	1.0%	
施設の維持管理 (%)	99.5	91.1	100.0	100.0	.0%	.50%	

<白山ろく少年自然の家>

測定指標	H29～R1 年度 (基準値)	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比	基準値比	R8年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	17,105人	11,423人	10,122人	11,945人	118.0%	69.8%	17,800人
(2) 貸館稼働率 (%)					.0%	.0%	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	99.7	100.0	100.0	99.1	-.90%	-.60%	
施設の維持管理 (%)	97.1	94.5	95.3	95.7	.40%	-1.40%	

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

<白山青年の家>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	前年度の1～3月は能登半島地震による中学生の避難所としていたため、一般利用者の受入をしていなかったが、今年度は通常営業し利用者が増となった。	基準値となる年度は企業研修や学校研修を当施設で行っていたが、コロナ以降はほぼ無くなった。 また、各種団体の利用も減少していたが、その後各種団体へチラシ等を送付、PR活動を行った結果、徐々にであるが回復兆候が見えている。

<白山ろく少年自然の家>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	前年度の1～3月は能登半島地震による中学生の避難所としていたため、一般利用者の受入をしていなかったが、今年度は通常営業し利用者が増となった。 コロナ禍が収束し平常な生活が戻ったこと。さらに、能登少年自然の家が運営停止のため利用団体が増加した。	プログラム内容(オリエンテーリング的な内容のものは、時間、人数によって変更できるようにしている。ジオサイトの説明についてわかりやすく伝わりやすいものに再考。)を改善。また、魅力あるプログラム(ジオパークの導入)、五感が味わえる内容(所内でのイワナさばき活動)を意識した。

<利用者アンケート結果>

<白山青年の家> (令和5年4～12月実施 有効回答数 利用者サービス40件、施設の維持管理41件)

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	92.0	8.0	0.0	0.0
施設の維持管理 (%)	84.0	16.0	0.0	0.0

<白山ろく少年自然の家> (令和5年4月実施 有効回答数66件)

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	82.4	16.7	0.9	0.0
施設の維持管理 (%)	46.6	49.1	3.6	0.7

3 施設等の維持管理

<白山青年の家>

項 目	実施内容
(1) 清掃	・ 日常清掃（宿泊部屋、研修室、食堂、トイレ、浴室、体育館等）：随時 ・ 定期清掃（廊下、研修室、食堂、体育館等の洗浄とワックス掛け）：年3回
(2) 設備保守点検	・ 電気設備保守年6回、消防設備保守年2回、昇降機設備保守年4回、貯水槽清掃年1回、ボイラー保守年1回、地下タンク検査3年に1回
(3) 植栽維持管理	・ 敷地内の専門業者による樹木剪定及び伐採はその都度 ・ 道路、駐車場、グラウンド等の除草は適宜
(4) 警備	・ 施設内及び敷地内周辺の職員による施錠と見回りは毎日
(5) 小規模修繕	・ 消防設備の取替及び修繕

<白山ろく少年自然の家>

項 目	実施内容
(1) 清掃	・ 日常清掃（床清掃、ゴミ処理等）：毎日1回～2回 ・ 定期清掃（廊下等の床洗浄、ワックス掛け）：年3回
(2) 設備保守点検	・ 電気設備：年6回 ・ 消防設備：年2回 ・ 給排水衛生設備：年1回 ・ 積雪期の降雪量：降雪時適時
(3) 植栽維持管理	・ 日常業務として適時 ・ 敷地内の樹木の剪定：適時 ・ 花壇の整備：適時 ・ 下草刈り：適時 ・ 芝生広場の刈り込み：適時
(4) 警備	・ 施設全体の警備（常駐、夜間警備、巡回警備等）及び駐車場管理を毎日実施
(5) 小規模修繕	

4 管理運営体制

<白山青年の家>

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・ 危機管理マニュアルを作成し、それに基づき対応している。 ・ 災害及び事故等の緊急時対応計画に基づき、対応手順の確認や施設利用者とともに避難訓練を実施（避難訓練10月、救命救急講習11月）
(2) 個人情報の管理状況	・ 基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき、適正に管理

<白山ろく少年自然の家>

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・ 災害及び事故等の緊急時対応計画に基づく危機管理マニュアルを職員に周知徹底。活動場所の安全確認を定期的かつ必要に応じて随時実施 ・ 消防訓練の実施年2回（5/25[応急処置]）
(2) 個人情報の管理状況	・ 基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき、適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

項 目	許可件数	不許可件数	不許可理由
白山青年の家	154	0	
白山ろく少年自然の家	133	0	
合 計	287	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

<白山青年の家>

（単位：千円）

項 目	収入額	減免額	減免理由
宿泊料	1,624	0	
食事料	5,148	0	
冷暖房費	233	0	
合 計	7,005	0	

<白山ろく少年自然の家>

（単位：千円）

項 目	収入額	減免額	減免理由
食事料	5,979	0	
寝具料	964	0	
暖房・スキー用具料等	108	0	
合 計	7,051	0	

(3) 収支決算

<白山青年の家>

（単位：千円）

収 入		支 出	
指定管理料	38,085	人件費	23,762
利用料収入	10,942	光熱水費	8,599
その他	2,659	修繕費	967
		その他	18,813
合 計 ①	51,686	合 計 ②	52,141
収支差額 ①－②	-455		

<白山ろく少年自然の家>

（単位：千円）

収 入		支 出	
指定管理料	36,045	人件費	26,326
利用料収入	7,051	光熱水費	4,009
その他	9,099	修繕費	1,626
		その他	17,195
合 計 ①	52,195	合 計 ②	49,156
収支差額 ①－②	3,039		

6 利用者からの意見、苦情、要望

<白山青年の家>

年 月	内 容	対 応
令和6年6月	100人単位で利用できる活動を増やしてほしい	活動場所（スペース）の問題もあり、保留中
令和6年7月	キャンプファイヤーの薪に火が着かなかった	前日の雨で薪がしけっていた可能性があるため、ブルーシート等で対応した
令和6年9月	ウォークラリー、もう少し長いコースがあっても楽しいと思います。	新規コースを検討中

7 事故、故障等

<白山ろく少年自然の家>

年 月	内 容	対 応
令和6年7月	ミステリーゾーンの活動中、集会室横の側溝に落ちた。	報告を受け確認したところ、顎と前歯に損傷があったため、夜間診療してくれる「県立中央病院」に緊急車両で搬送し処置してもらう。(診断: 顎、頬の擦過傷、右上前歯永久歯破折) 活動前の説明時に安全について再確認し、一列で歩行することを徹底させる。また、現場の側溝については、グレーチング等で蓋をした。

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	・学校・公民館を訪問して直接施設のPRを行うとともに、ホームページを随時更新して、イベントや体験プログラムなどの情報を発信し、利用者増に努めている。 ・白山市のLINEを活用した広報活動（白青）や、ホームページの内容を充実する（白山ろく）など、利用者の利便性を向上する取組を行っている。 ・地域人材を生かした自主事業「さとやまサロン」を開催し、地域と連携したプログラム作りに努めている。（白青） ・小学校を対象とした合宿事前指導に関しては、ホームページに「小学校への事前学習動画等」を掲載し、業務の効率化かつ利用団体へのサービス向上に努めている。（白ろく）
(2) 施設等の維持管理	B	・利用者の快適性や安全性を考慮し、施設の清掃・点検・修繕に積極的に対応している。 ・施設内は常に清潔に保たれており、適切な管理が行われている。 ・多くの施設を運営する指定管理者のスケールメリットを活かし、物品の共同購入や保守点検の一括した業務委託をすることで、経費の削減に努めている。
(3) 管理運営体制	B	・教育施設としての機能が発揮できる、適切な職員の配置がなされている。 ・緊急時の連絡体制や消防計画などが定められ、消防訓練を実施するなど安全対策が適切である。 ・大学生等のボランティアを積極的に受入れるとともに、大学を訪問し、ボランティアスタッフの確保に努め、きめ細やかな指導ができる体制を整えている。
総合評価	B	・仕様書等に基づき適切な管理運営を行うとともに、利用者満足度の高いサービスの提供に積極的である。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項